

# 平成28年3月期 本決算説明会

平成28年5月19日



ウェイトチェッカ/金属検出機  
(計量・計測機器)




## ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

## Contents

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 28年3月期業績の総括     | 12. 28年度以降の中長期方針①   |
| 2. 28年3月期の概況       | 13. 28年度以降の中長期方針②   |
| 3. 計測・計量機器事業 実績-1  | 14. 29年3月期通期見通し     |
| 4. 計測・計量機器事業 実績-2  | 15. 計測・計量機器事業 見通し-1 |
| 5. DSP事業の業績        | 16. 計測・計量機器事業 見通し-2 |
| 6. 医療・健康機器事業 実績-1  | 17. 医療・健康機器事業 見通し-1 |
| 7. 医療・健康機器事業 実績-2  | 18. 医療・健康機器事業 見通し-2 |
| 8. 財務分析(貸借対照表)①    | 19. 4つの成長事業について①    |
| 9. 財務分析(貸借対照表)②    | 20. 4つの成長事業について②    |
| 10. 財務分析(キャッシュフロー) | 21. 工業計測機器事業        |
| 11. 設備投資・減価償却費の推移  | 22. ベトナム工場の新設       |
|                    | 23. 医療・健康ICT        |
|                    | 24. 補足資料            |

## ハイライト

- 
**国内の試験装置の伸び悩みおよび海外向けの血圧計の受注減少等から売上高は予想に届かなかったが、他セグメントの売上堅調および為替対策等により前年比では増収増益**
- 
**計量・計測機器事業は計量機器および工業計測機器を中心に売上は堅調**
- 
**医療・健康機器事業はロシアにおける健康機器の値上げ対応で、現地通貨ベースでは売上が増加するもルーブル安で円換算では売上減少**

1

## 28年3月期の概況

(単位：百万円)

連結損益	27/3期 (実績)	28/3期		28/3期 (実績)	前期比	28/3期 予想	予想比	コメント
		上期	下期					
売上高	39,502	17,685	22,568	40,253	+1.9%	42,400	-5.1%	
売上原価	21,223	9,896	12,768	22,664	+6.8%	24,140	-6.1%	
販売費及び 一般管理費	16,582	8,185	8,260	16,445	-0.8%	16,480	-0.2%	
営業利益	1,696	-397	1,540	1,144	-32.6%	1,780	-35.8%	原価の上昇に伴い減少
経常利益	919	-441	1,455	1,015	+10.4%	1,510	-32.8%	為替差損の減少
税引き前 利益	895	-437	1,427	990	+10.7%	1,510	-34.4%	
親会社株主 に帰属する 当期純利益	163	-369	817	448	+174.5%	980	-54.2%	
1株当たり 利益(円)	7.65	-17.26	38.25	20.99	+174.5%	45.86	-54.2%	

(注) 28年3月期予想は、平成27年5月11日付の「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した予想であります。また、次頁以降のセグメント別および製品種別毎の28年3月期予想は、平成27年11月6日開催の第2四半期決算説明会で発表した予想であります。

2

## 計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント	27/3期 (実績)	28/3期 (実績)		前期比	28/3期 予想	予想比		
		上期	下期					
計測・計量 機器事業	売上	24,257	11,298	14,635	25,934	+6.9%	27,480	-5.6%
	売上原価	13,619	6,466	8,398	14,864	+9.1%	15,750	-5.6%
	販管費	9,191	4,844	4,793	9,638	+4.9%	9,630	+0.1%
	営業利益	1,448	-12	1,444	1,432	-1.1%	2,100	-31.8%

- 計量機器を中心に売上は堅調に推移  
⇒売上は前期比6.9%増（通期）
- 為替変動等の影響で売上原価が上昇  
⇒営業利益は前期比1.1%減（通期）

3

## 計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	27/3期 (実績)	28/3期 (実績)		前期比	28/3期 予想	予想比	
		上期	下期				
計測機器	4,174	1,574	2,379	3,953	-5.3%	4,420	-10.6%
計量機器	13,035	6,913	7,602	14,515	+11.4%	14,930	-2.8%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	6,298	2,495	3,922	6,417	+1.9%	7,400	-13.3%
電子ビーム関連ユニット	750	316	732	1,048	+39.8%	730	+43.6%
売上合計	24,257	11,298	14,635	25,934	+6.9%	27,480	-5.6%

- 計測機器** : 試験機関係が全体的に振るわず、前期比減。
- 計量機器** : 日本アビオニクス(株)から譲り受けた工業計測機器の売上が付加されたことに加え、天秤等の従来製品も好調。
- DSP** : 自動車・タイヤ関連設備を中心に売上は堅調に推移。
- 電子ビーム関連ユニット** : 電子ビームマスク描画装置およびマスク検査装置向けが好調。

4

## DSP事業の業績



(単位：百万円)

	用途種別	26/3期 (実績)		27/3期 (実績)		28/3期 (実績)	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
DSP事業	自動車関連	1,586	2,335	2,127	3,438	2,036	3,307
	試験機関連	45	71	34	56	44	55
	その他	201	315	237	407	415	561
	小計	1,832	2,721	2,398	3,900	2,495	3,922
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	91	277	86	509	218	209
	計量制御関連	46	166	163	173	232	288
	医療機器	9	10	2	29	2	22
	小計	146	453	251	711	452	519
合計		1,978	3,174	2,650	4,612	2,948	4,440
売上合計(通期)		5,153		7,261		7,388	

自動車・タイヤ関連の各種試験装置を中心に売上が堅調に推移。

5

## 医療・健康機器事業 実績-1



(単位：百万円)

セグメント	27/3期 (実績)	28/3期 (実績)		前期比	28/3期 予想	予想比	
		上期	下期				
医療・健康 機器事業	売上	15,245	7,933	14,319	-6.1%	14,920	-4.0%
	売上原価	7,414	4,514	7,824	+5.5%	8,240	-5.0%
	販管費	6,020	2,832	5,475	-9.1%	5,490	-0.3%
	営業利益	1,811	586	1,020	-43.6%	1,190	-14.2%

1. ロシアにおける健康機器の値上げ対応で、現地通貨ベースでは売上が増加するもルーブル安で円換算では売上減少。

⇒通期では売上高は前期比6.1%の減少

2. ロシアにおいて大幅に販管費の削減を行ったものの、円安による原価の上昇により、営業利益が大幅に減少。

⇒営業利益は前期比43.6%減少

6

(単位：百万円)

製 品 種 別	27/3期 (実績)	28/3期		前期比	28/3期 予想	予想比
		上期	下期			
医 療 機 器	2,786	1,239	1,575	+1.0%	3,140	-10.4%
健 康 機 器	12,459	5,147	6,358	-7.7%	11,780	-2.3%
売 上 合 計	15,245	6,386	7,933	-6.1%	14,920	-4.0%

**医療機器**：メディカル計量器及び水銀レス看護用血圧計は好調だったが、動脈硬化測定器をはじめとする新製品の開発・市場投入が進まず、売上は横這い。

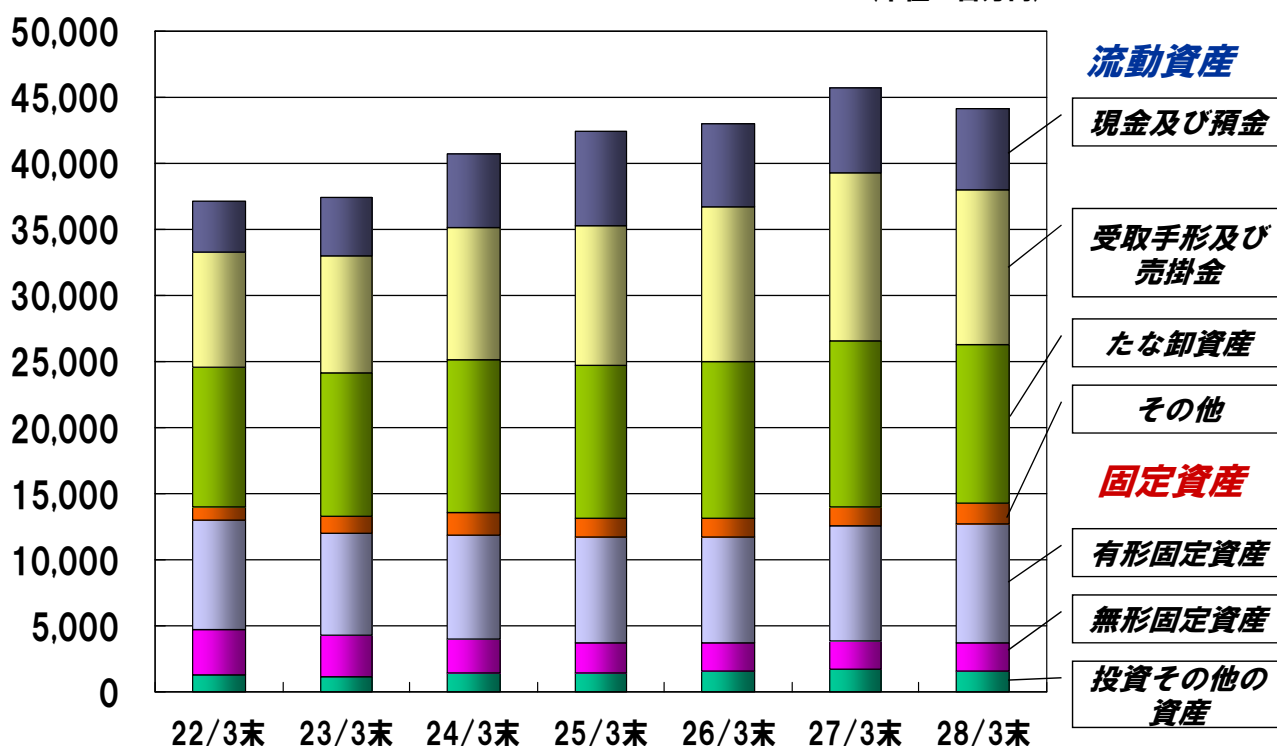
**健康機器**：ロシアにおける健康機器の値上げ対応で、現地通貨ベースでは売上が増加するもルーブル安で円換算では売上減少。

7

## 財務分析（貸借対照表）①

### ■ 貸借対照表分析 資産の部

(単位：百万円)

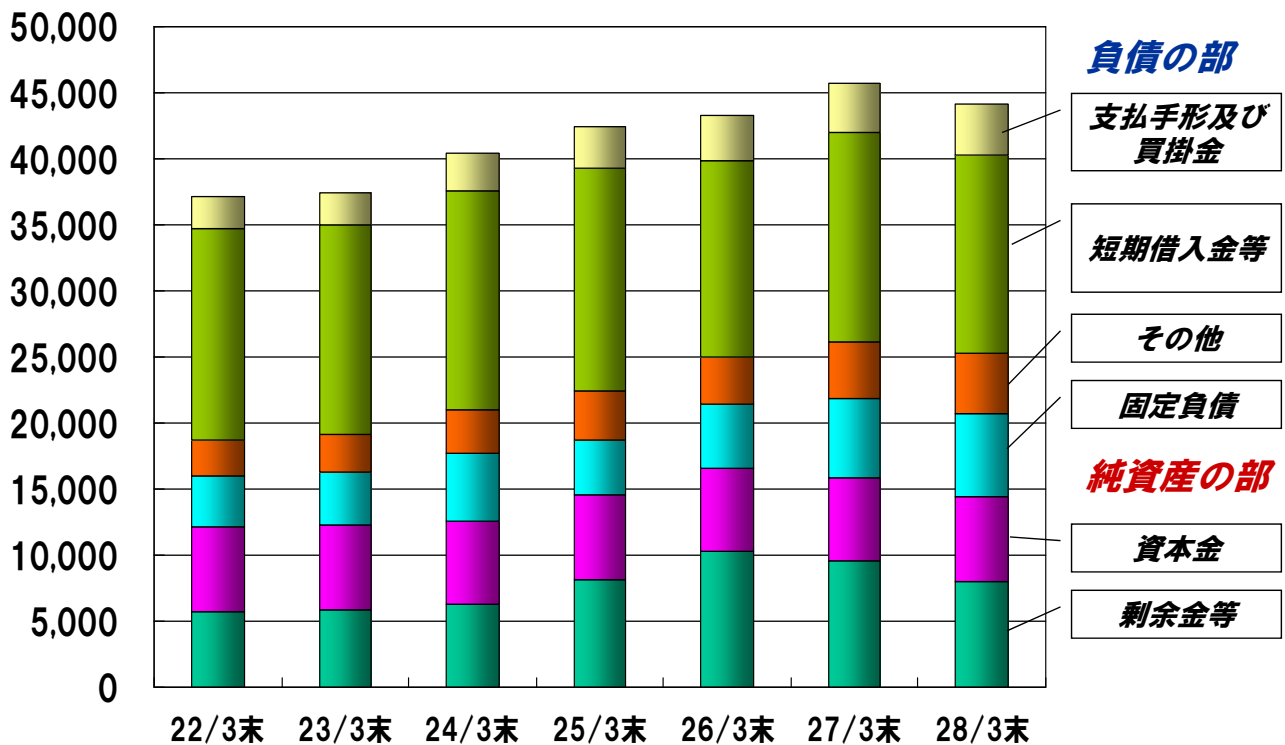


8

## 財務分析（貸借対照表）②

### ■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



9

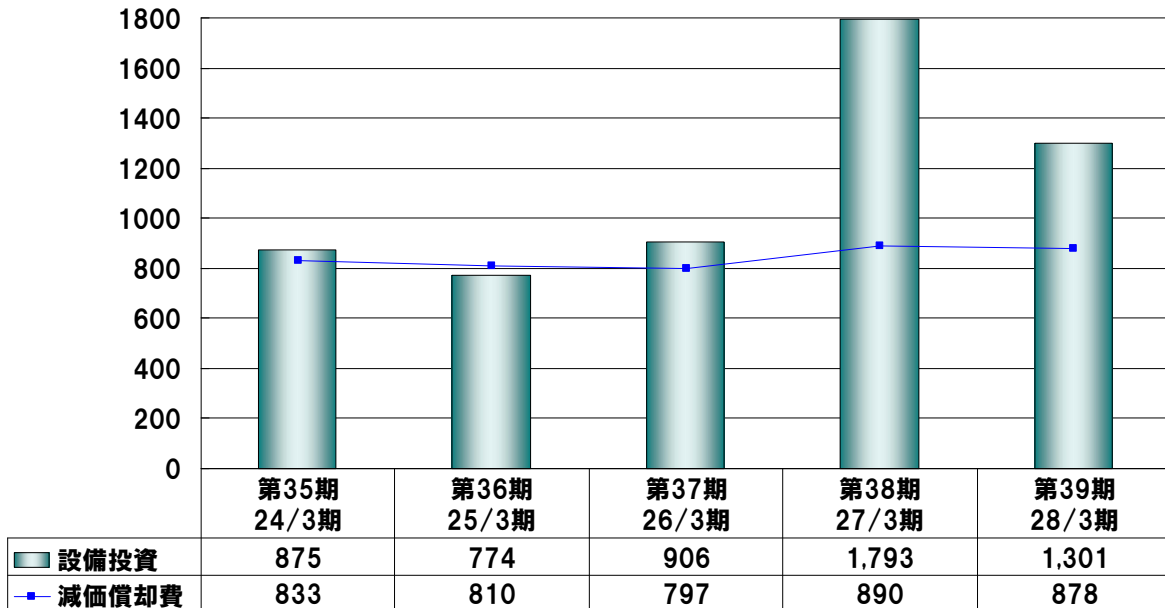
## 財務分析（キャッシュフロー）

### ■ キャッシュフロー分析

連結キャッシュフロー	27/3期 (実績)	28/3期 (実績)	コメント
営業活動によるCF	1,129	2,908	減価償却費+1,384 税金等調整前当期利益+990 売上債権の減少+405
投資活動によるCF	△2,117	△2,270	有形固定資産取得による支出△1,264 無形固定資産取得による支出 △723
財務活動によるCF	995	△832	子会社株式の取得による支出△546 配当金の支払額△258
現金及び現金同等物の 増減額	192	△468	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,692	5,224	

10

(単位：百万円)



注) 上記、設備投資額及び減価償却費は固定資産に対するもののみ集計しております

第38期は大型試験機の組立工場新築・用地拡張、第39期はベトナム工場新設のため、設備投資が増加。

## 28年度以降の中長期方針①

当社は、今後の中長期的な方針として、資本の有効活用の観点から以下の施策を行ってまいります。

### ✦ 成長戦略

売上については、昨年12月に策定した成長戦略に則り、4つの成長分野に注力し、事業の拡大を図る。(詳細はトピックス1をご参照ください)

### ✦ 外貨の管理

海外現地法人における外貨建の債権・債務を圧縮(原則、売上1ヵ月以内)し、為替リスクの低減を図る。

### 収益性の改善

- ・販管費については新たなガイドラインを設け、経費削減を図る。特に開発費は現在の対売上高比率10数%の水準から、5年後に8%以下を目標とする。
- ・海外現地法人は、売上より利益を重視し評価を行う。

### 資産の圧縮

自己資本の有効活用のため、今後5年間をかけて、有形・無形の資産の圧縮を行う。

## 29年3月期通期見通し

(単位：百万円)

連結損益	28/3期 (実績)	29/3期 (予想)		前期比
		上期	下期	
売上高	40,253	18,920	24,980	43,900 +9.1%
売上原価	22,664	10,570	14,160	24,730 +9.1%
販売費及び一般管理費	16,445	8,580	8,490	17,070 +3.8%
営業利益	1,144	-230	2,330	2,100 +83.6%
経常利益	1,015	-390	2,220	1,830 +80.4%
税引き前利益	990	-420	2,220	1,800 +81.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	448	-400	1,580	1,180 +163.1%
1株当たり利益(円)	20.99	-18.72	73.94	55.22 +163.1%

想定為替レート：1ドル=115円、1ユーロ=130円、1ルーブル=1.7円



# 計測・計量機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント	28/3期 (実績)	29/3期 (予想)		前期比	
		上期	下期		
計測・計量 機器事業	売上	25,934	16,310	28,330	+9.2%
	売上原価	14,864	9,460	16,460	+10.7%
	販管費	9,638	4,840	9,730	+1.0%
	営業利益	1,432	2,010	2,140	+49.4%

## 1. 売上

自動車・タイヤ関連DSP事業、および新規事業を展開している計量機器を中心に、前期比9.2%の売上増加を見込む

## 2. 売上原価・販管費

販管費および開発費の抑制により営業利益の拡大を図る

15

# 計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	28/3期 (実績)	29/3期 (予想)		前期比	
		上期	下期		
計測機器	3,953	1,500	2,400	3,900	-1.3%
計量機器	14,515	7,600	8,200	15,800	+8.9%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	6,417	2,420	5,160	7,580	+18.1%
電子ビーム関連ユニット	1,048	500	550	1,050	+0.2%
売上合計	25,934	12,020	16,310	28,330	+9.2%

計測機器：

・引張・圧縮試験機等の材料試験機を中心に拡販

計量機器：

・他社との差別化が可能な金属検出機の拡販（アルミ包装内の検査、脱酸素剤入り容器の検査など）  
 ・事業譲受された工業計測機器に当社基盤技術を応用した新製品開発の推進および新たな代理店網を活用した拡販

DSP：

・自動車・タイヤ関連および工業計測システムを中心に拡販

電子ビーム関連ユニット：

・電子ビーム等を利用した応用市場を開拓

16

## 医療・健康機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント		28/3期 (実績)	29/3期		前期比	
			上期	下期		
医療・健康 機器事業	売上	14,319	6,900	8,670	15,570	+8.7%
	売上原価	7,824	3,570	4,700	8,270	+5.7%
	販管費	5,475	2,950	2,950	5,900	+7.8%
	営業利益	1,020	380	1,020	1,400	+37.2%

### 1. 売上

新製品の投入、新興市場の開拓等により、売上は前期比8.7%増を見込む

### 2. 売上原価・販管費

カナダでの新会社設立や中国工場の縮小移転に伴う販管費の増加があるものの、中国工場からベトナム工場への生産移管を進め、原価の低減に取り組む

17

## 医療・健康機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	28/3期 (実績)	29/3期		前期比	
		上期	下期		
医療機器	2,815	1,450	1,630	3,080	+9.4%
健康機器	11,504	5,450	7,040	12,490	+8.6%
売上合計	14,319	6,900	8,670	15,570	+8.7%

**医療機器：**・水銀使用製品の規制に伴う水銀レス血圧計等の販売を推進する一方、資本の有効活用の見地から開発テーマの変更もしくは開発投資の縮小など、開発方針の見直しの検討を行う

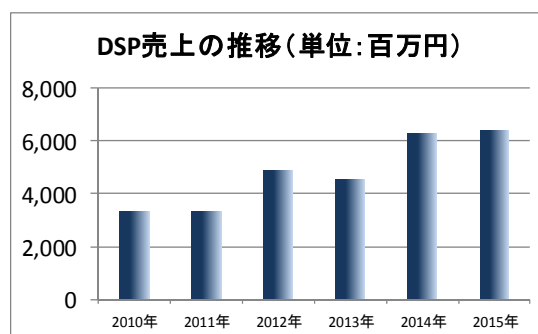
**健康機器：**・新製品投入および新興国市場の開拓促進

・IT技術活用により、スマートフォンユーザーおよび在宅医療・医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸長を図る

18

## 1. 自動車・タイヤ産業向け計測・制御・シミュレーション機器 (DSP)

- ・実車走行データから得た正確な計測データから高精度な車両モデル同定を行い、その車両モデルをベースに、実車台上テスト／ベンチテスト／部品テストなどを統合する次世代試験ツールを自動車・タイヤ関連メーカーに提供。ユーザーにおける開発プロセスの効率アップに貢献するソリューションが評価され、売上が伸長しております。



## 2. 日本アビオニクス(株)から事業譲受した工業計測事業

- ・事業として譲り受けた旧三栄測器(株)のアンブとレコーダは数十年に渡って工業計測の要の測定器として普及し「三栄」ブランドとして確立しており、継続して一定の売上が見込める事業です。
- ・今後は更に当社の保有する基盤技術とのシナジーを図り、特にDSP技術及び有限要素法との融合を図ることで、これまで難しかったユーザーの複雑なカスタマイズ要求への対応が容易な工業計測システムなど、高機能かつ競争力のある計測機器を開発・市場投入してまいります。

19

## 3. 食品加工産業を中心とするウェイトチェッカ、金属検出機事業

- ・当社の基盤技術を駆使した高感度センサ技術、AD変換技術、信号処理技術により他社との差別化を図ります。
- ・国内においては既存の間屋ルートの活用に加え、食品メーカーを得意とする代理店、システムメーカーの開拓により、販売チャンネルを確立します。
- ・海外現地法人での新規事業立上げにより早期販売展開を図ります。



## 4. マイクロ天秤やマイクロピペットを中心とした製品群によるラボラトリ市場

- ・生科学・製薬市場に於ける研究・開発の重要性の高まりを背景に、当社は分析機器市場向けの製品として、日本で唯一のマイクロ天秤や、既存の電動ピペットの弱点(重い・高価etc.)を克服したマイクロピペット、高精度な再現性を実現した振動式粘度計など、ユニークな測定機器を市場投入し、好評を得ております。今後も市場の要望に応える製品を開発・提供することで同市場への更なる浸透を図ってまいります。



20

当社は、株式会社IHIより、宇宙航空研究開発機構（JAXA）で開発が進められている次期基幹ロケットH3用1段エンジン（LE-9）の種子島宇宙センターにおける燃焼試験設備用の計測設備を受注しました。

### 納入システムの概要

- ・種子島宇宙センターのロケット試験場において、エンジンの燃焼試験の際に必要なとされる情報（圧力、推力、加速度、温度、流量、歪等々）を計測し、そのデータを中継地点を経て、計測・制御室に送るシステム。

### 特徴

- ・従来使用されていた多数のアナログ・アンプを自動校正機能付ボードに変えることにより、校正に要する時間およびコストを削減。
- ・中継地点-計測制御室間の通信を従来のアナログからデジタル化することにより、ノイズに強く、シンプルな配線となった。

### 使用された主な当社製品と技術

- ・AD-PROCYON、iTest、WCA 他

21

## トピックス3 ベトナム工場の新設

中国工場におけるコスト増への対応として、本年4月よりベトナム工場の稼働を開始しました。

社名：A&D VIETNAM LIMITED  
所在地：ベトナム バクニン省  
事業内容：家庭用血圧計等の製造  
敷地面積：19,138㎡  
延床面積：5,058㎡



22

## 志木市いろは健康ポイント事業

- ・ 当社のNFC活動量計が昨年埼玉県志木市の健康事業に採用されました。歩いた歩数等に応じて、健康ポイントを獲得し、志木市内の商店で利用可能な商品券がもらえるというものです。
- ・ この様な取り組みは埼玉県知事の指示のもと、今後、県全体へ広げる計画になっています。
- ・ また、この様な健康増進の取り組みは、埼玉県のみならず各県地域で行われております。




志木市 SHIKI CITY  
"市民力"再発見! 夢と未来を語る、ふれあいあふれるまち志木

日本語 English 中文 한국어  
Googleカスタム検索 検索

ホーム 市のあらまし <らしの便利帳 子育て・教育 福祉・健康 行政情報 施設案内

現在位置: ホーム > 福祉・健康 > 健康 > 健康寿命のばしマッスルプロジェクト > 志木市いろは健康ポイント事業

### 志木市いろは健康ポイント事業

志木市いろは健康ポイントとは、歩いたり、運動をしたり、BMIや体脂肪率が改善した場合などに獲得できる、商品券に交換可能なポイントです。

日常生活の中で、ゲーム感覚で楽しみながら、健康づくりしてみませんか?  
[申込みはこちらから](#)

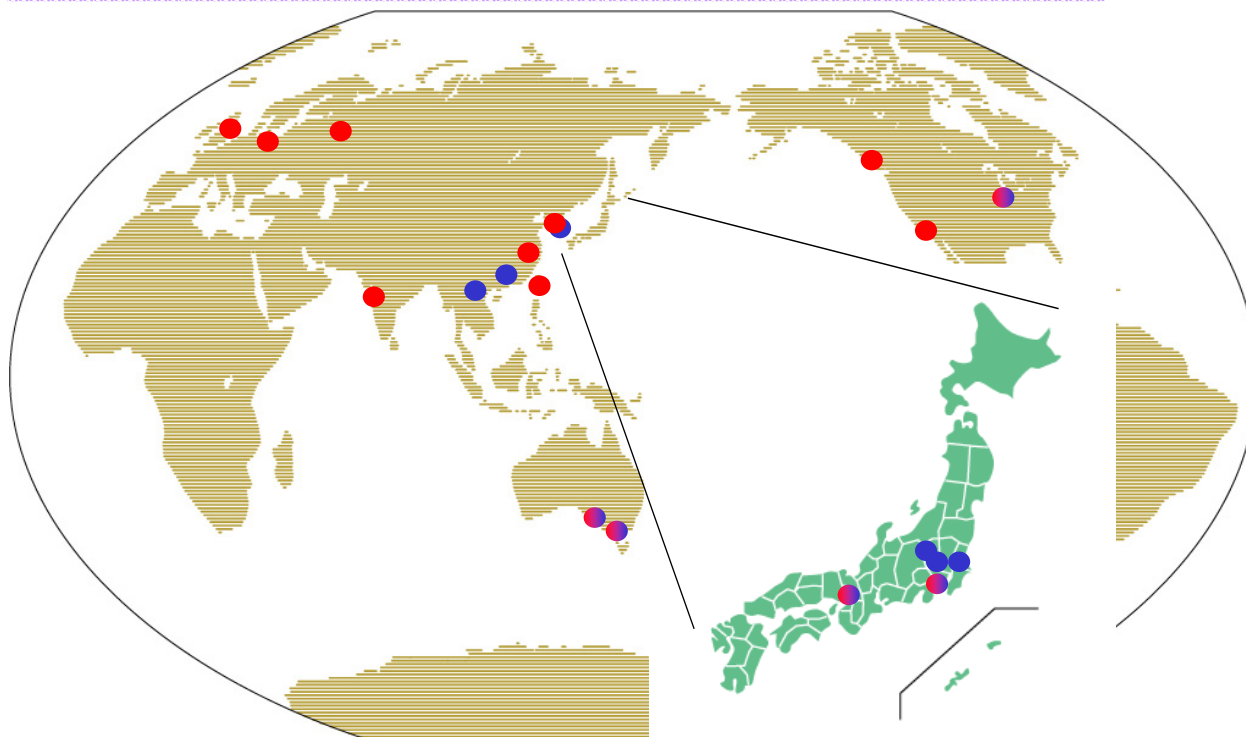
#### どうやって、いろは健康ポイントをためるの?

参加する方には、主に次のことを行っていただきます。

1. 市が無償で歩数計をお貸しします。
2. 歩数計を携帯して歩いたり、運動教室などに参加したりします。
3. 公共施設などに設置された専用端末(市内約30か所)に歩数計をかざして歩数データを送信します。
4. 公共施設などに設置された専用体組成計で、BMIや体脂肪率を測定します。

- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例
- 7 電子ビーム関連ユニット
- 8 工業計測機器
- 9 開発の状況

## グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動  
生産主体は国内外関係会社  
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

## 製品紹介（計測機器）

種別	概要	主要製品
波形解析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材料試験機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電子計測器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油圧試験装置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環境計測機器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム  
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

## 製品紹介（計量機器）

種別	概要	用途等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用
ウェイトチェッカー	コンベア搬送中の物品の計量及び制御を行う	製造ラインでの商品の全数検査の自動化や、質量の検査、質量による選別に使用
金属検出機	電磁誘導等を利用して被検査物内の異物（金属）の検出を行う	食品・医薬品等製造・加工工程における異物の検出に使用



分析用天秤



防水電子台秤



ウェィング・  
インジケータ



デジタル・  
ロードセル



ウェイト  
チェッカー

# 製品紹介（医療・健康機器）

種別	概要	主要製品	特徴等
病院用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向け血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血圧監視装置	SpO2（動脈血酸素飽和度）と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メディカル 計量器	医療機関 や高齢者 介護施設 向け計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリー スケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すり につかまった状態で安全に計測
健康機器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル上腕式 血圧計	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		手首式	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体重計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示

上腕式家庭向け血圧計

バイタルセンサ



超音波吸入器

家庭向け体重計



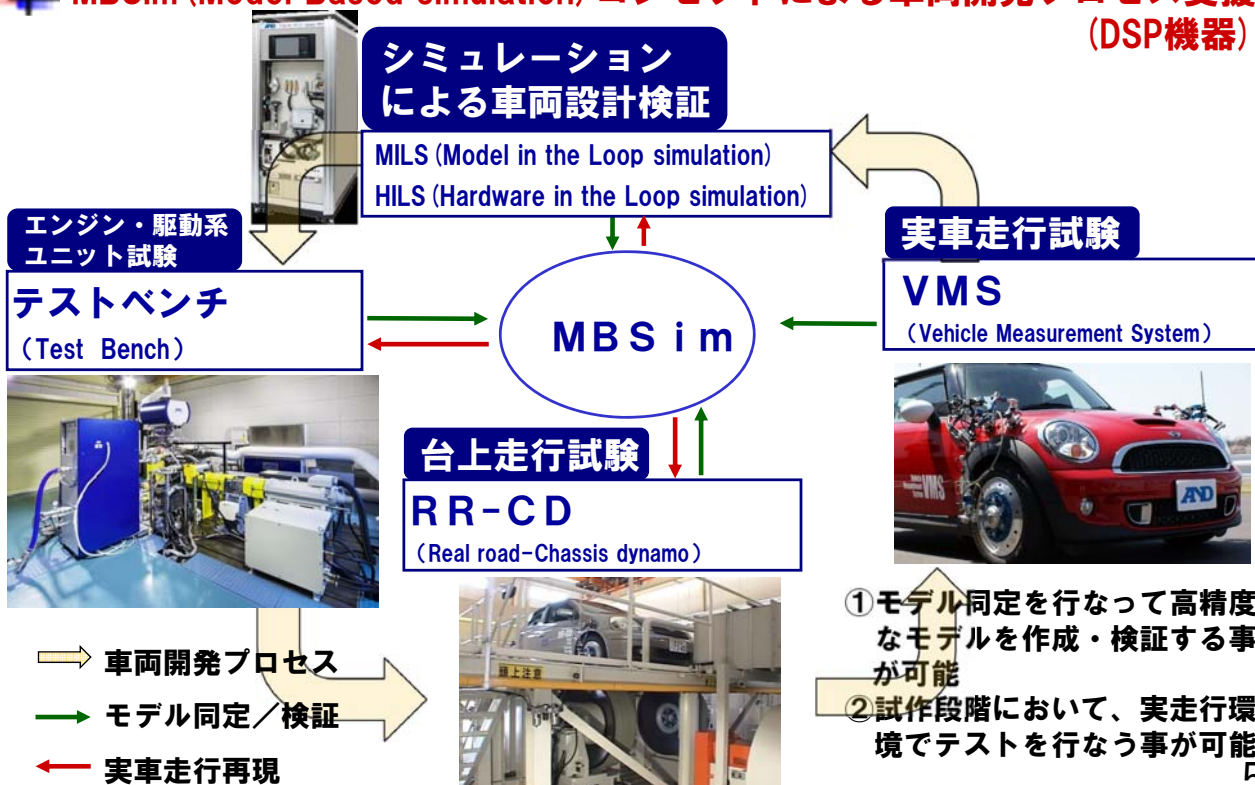
全自動血圧計



ストレッチャー  
スケール

# DSPシステムとは（1）

**MBSim (Model Based simulation) コンセプトによる車両開発プロセス支援 (DSP機器)**





# DSPシステムとは (2)

## テストベンチシステムについて

### ■ テストベンチシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです



エンジンの試作品

つないでテストする



エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

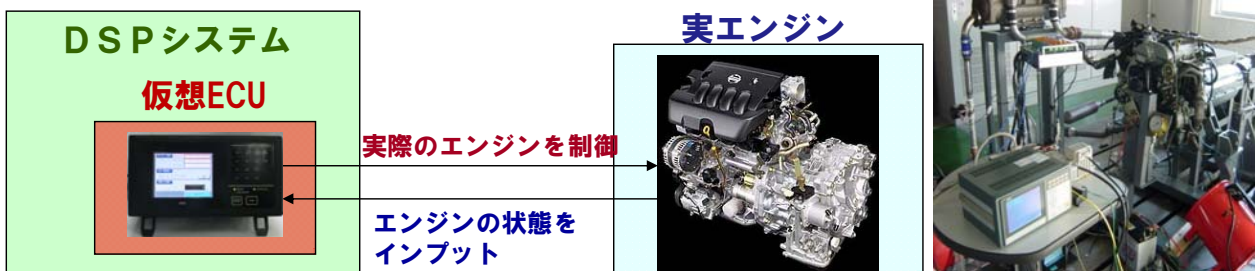
### ■ 対象となるマーケット

- ◇自動車メーカー及び部品メーカー
  - ※国内自動車メーカーはほぼ全ての会社に参入済み
  - アメリカはM&A、欧州は業務提携で世界にも進出
- ◇航空・宇宙産業やロボット産業
  - ※現在エンジニアリングノウハウを吸収中

# DSPシステムの採用事例-1

## RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



## HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



## DSPシステムの採用事例－2

### ORION 適合支援自動計測ソフトウェア

#### 1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

#### 2. ORIONの特徴

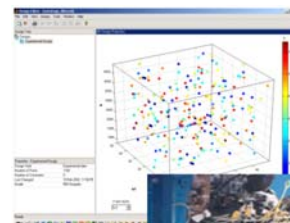
##### ・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

##### ・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

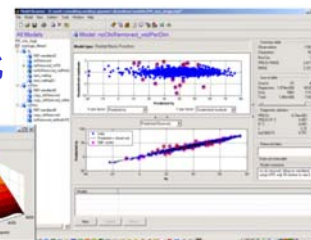
#### 実験計画



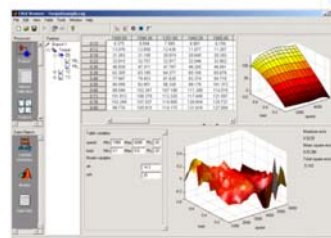
#### 評価試験



#### ECUのモデル化



#### 適合



## DSPシステムの採用事例－3

### 統合開発環境（iTest-LA）について

iTest（適合試験、性能試験に必要な標準アプリケーション）を中心とする、開発試験運用全体をトータルでサポートするシステム。

試験運用全体での効率化や、将来を見据えた拡張が可能なシステムを提供。

#### 《統合開発環境を構成する製品群》

##### ・LabWorX

設定、試験運用管理、遠隔モニター、データ管理機能を持つサーバーシステム

##### ・ORION

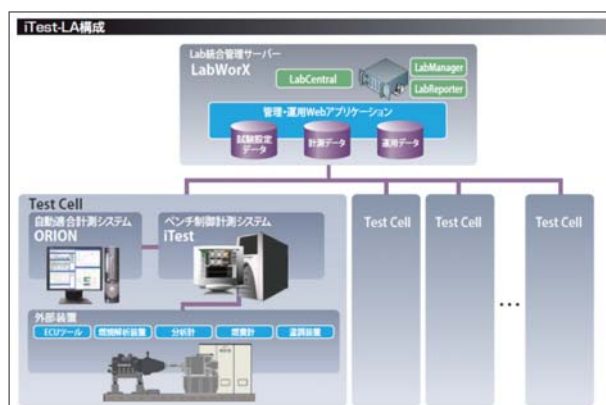
高品質なDoEモデリングが可能な適合自動計測システム

##### ・iTest

ベンチの基本計測・制御システム（LAシステム/Ausy）

##### ・ANDROMEDA

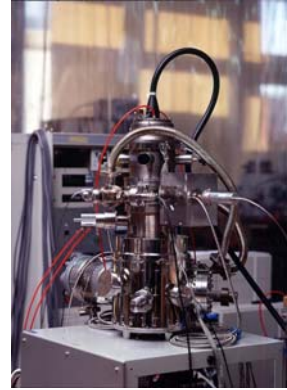
過渡試験（モード、Simulation運転）に対応するベンチ制御コントローラー



# 電子ビーム関連ユニット

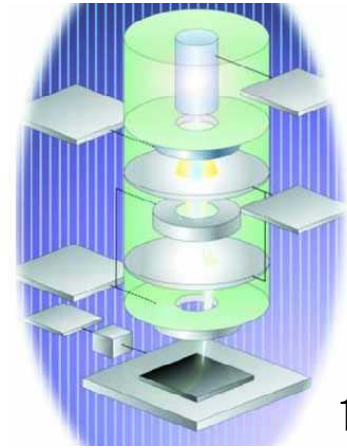
## 電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています



## 当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**  
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**  
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



10

# 工業計測機器

アンプ	レコーダ	ロガー
<p>列車走行試験</p> <p>列車走行安全測定装置</p>	<p>鉄・非鉄のライン点検</p> <p>遮断試験、CVCF・UPSの異常測定</p>	<p>大型建造物、橋梁、橋桁の疲労試験</p> <p>翼の疲労弾性試験</p>

11

航空・宇宙向け	原子力・電力向け	ゼネコン・重工向け
<p>ロケットエンジン燃焼試験装置</p>	<p>原発の過度現象測定システム</p>	<p>大型振動台 データ測定システム</p>
<p>真空チャンパ内での熱負荷試験</p>	<p>鉄鋼向け</p> <p>圧延ライン用分散計測システム</p>	<p>地滑り実験計測システム</p>
<p>燃焼風洞実験計測システム</p>	<p>品質管理用計測レコーダ</p>	

## 開発の状況

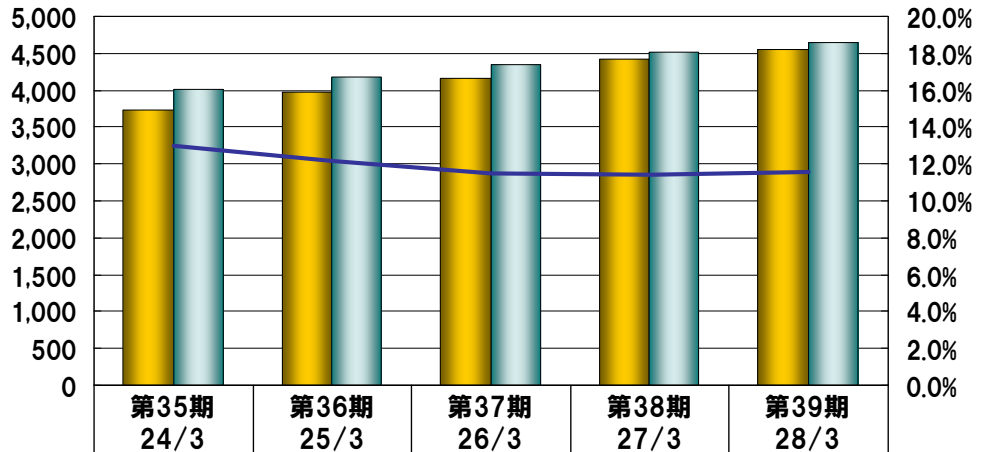
社内資源の多くを開発に投入し、各事業分野で継続して開発を実施。

(平成28年3月末/A & D 単体)

開発人員数 383名

開発人員比率 53.9%

研究開発費  
(単位：百万円)



研究開発費 (単体)	3,734	3,965	4,163	4,415	4,545
研究開発費 (連結)	4,015	4,175	4,347	4,507	4,653
売上高比率	13.0%	12.2%	11.50%	11.40%	11.56%

※売上高比率は連結売上で算出

**AND**

株式  
会社 **エーアンド・ティ**